広報 よっかいち

2
February

いつまでも自分らしく暮らしたい

INDEX

02 特集　超高齢社会と向き合う
08 四日市PLUS　あなたのまちの民生委員・児童委員
09 四日市PLUS　自治会でつながる 暮らしやすいまちづくり
10 きらり四日市人　徳山直子さん
11 そらんぽ四日市へ行こう ／ こにゅうどうくんのお部屋
12 ツナガル市民協働 ／ 選挙にGO！
13 市政最前線 ／ 四日市まちかどニュース
14 編集後記 ／ 広報紙で動画を見よう ／ 市の情報発信源

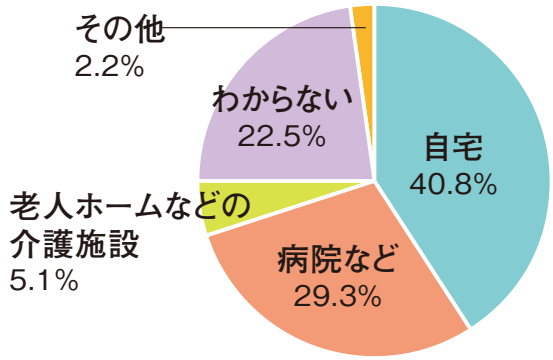
平成31年(2019年)2月5日発行
2月上旬号　NO.1518
編集・発行／四日市市役所
広報マーケティング課
代表電話（総合案内）☎354-8104
〒510-8601　四日市市諏訪町1番5号
HP https://www.city.yokkaichi.lg.jp

趣味は庭いじり。
3月で満102歳を迎えられるご長寿の秘訣は常に動いていること。ハキハキしゃべり、何にもつかまらず歩く姿は100歳を超えていることをまったく感じさせません。

特集　超高齢社会と向き合う

いつまでも自分らしく暮らしたい

■自分が最期を迎える場合、どこで看取られることを希望しますか



※平成25年「高齢者介護に関する調査」（四日市市）

超高齢社会に突入

高齢者を取り巻く状況

高齢化の進行に伴い、一人暮らし高齢者や高齢者夫婦のみの世帯が増加するとともに、医療や介護を必要とする人も増えています。一方で、要介護状態になっても自宅で最期を迎えたいと希望する人は高齢者の約4割に達します。

こうした中で、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるようにするためには、医療や介護などの公的なサービスだけでなく、さまざまな関係者の力が必要になります。

特に、少子高齢化が進み、医療・介護の専門職の確保が難

ちゃんねる連動

今回の特集の内容は
市政情報等提供番組
「ちゃんねるよっかいち」
地デジ12ch(CTY)でも紹介します。
●2月21日(木)～28日(木)放送
月・水・金・日曜日　9:30、20:30
火・木・土曜日 12:30、20:30

現在、本市の人口は、312,258人。このうち65歳以上の高齢者は79,613人で、高齢化率は25.5%という状況を迎えています。(平成30年10月1日時点)
年齢を重ねても生きがいや喜びを持ち、元気に安心して生活することは全ての人の願いです。「住み慣れた地域で自分らしく最期まで生きる」ために、自身の健康はもちろん、地域での支え合いが必要不可欠です。
今回の特集は、変わりゆく時代に備え、高齢者を支えるさまざまな立場の人を追います。

しくなる中では、地域住民一人ひとりが高齢者支援の担い手となっていくことが求められます。

また、自らが長く健康でいられるよう努めることが必要不可欠です。そのために、介護予防に取り組んだり、積極的に地域に出て人と話したりすることが大切です。

現在、本市では、医療・介護制度の充実を図るとともに、地域の協力の下で高齢者を支える体制づくりに取り組んでいます。

正しい理解でつながるサポート

他人事（ひとごと）ではない認知症

最も大切なのは家族や周囲の人の理解です

65歳以上の4人に1人が認知症あるいは認知症予備軍と言われ、今や認知症は他人事ではなく自分の身近なこととして考える時代になってきています。本市では、認知症の早期発見・早期治療ができる仕組みづくりを進めているほか、認知症の人やその家族を孤立させない地域での見守り体制づくりに力を入れています。

「認知症のことを学びたい」「認知症の人を支えたい」など認知症に関することは、介護・高齢福祉課や各地域包括支援センターに配置されている認知症地域支援推進員にご相談ください。

認知症の人と家族をみんなで支える地域づくりを推進
介護・高齢福祉課　認知症地域支援推進員 **山内加奈江**

人と人 地域をつなぐ
認知症カフェ

誰もが気軽に参加できる集いの場として、現在市内17カ所で開設されている“認知症カフェ”。認知症の人やその家族が安心して過ごせる地域の居場所として、NPO法人、社会福祉法人などの運営主体で月1回程度開催されています。

認知症の人にとっては、外出して他人と関わる機会として、そして介護者にとっては、経験者や専門職に介護の方法を教えてもらえる情報交換の場として利用されるなど、さまざまな立場でさまざまな思いを持った人たちが集まります。

特別養護老人ホームうねめの里の一室で毎月第4木曜日に開催されている“オレンジカフェうつべ”。認知症の家族を持つ人たちが集まると、生活する上での悩みが自然にこぼれ始めます。認知症カフェでは、回想法や季節に合わせたイベントも開催されており、心身のリフレッシュ効果も期待されています。

ここに来ると本当に楽しい

オレンジカフェうつべ参加者
カフェではほかの参加者のお世話役

家にいると1人なので、しゃべることもないんです。でも、ここに来たら、知っている人がたくさんいて、自然にいっぱいしゃべっています。今が一番幸せです。周りの皆さんにも良くしてもらって安心して通っています。

22,642人（9月末時点）のサポーターがいます♪

認知症サポーター養成講座

認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り支援する「認知症サポーター」の養成講座を随時開催しています。「認知症サポーター」には、“認知症の人を支援します”という意思を示す目印であるブレスレット（オレンジリング）を配布します。

受講を希望される場合は、介護・高齢福祉課高齢福祉係（☎354-8170）へお問い合わせください。

住民主体で安心をつくる 地域で顔の見える関係づくり

サービスを受ける地域の皆さんと支援者。支え合いの中で信頼関係が生まれています

橋北地区の活動をのぞき見!

「お互いさま」で助け合い 住民主体サービス

住民組織、ボランティア、NPOなどによる「介護予防・日常生活支援総合事業」の通所型・訪問型サービスが、市内のいくつかの地域で実施されています。高齢になると、足腰が自然に弱るなどして、買い物に出掛けることやごみ集積所までごみを運ぶことさえ難しくなります。さらに、外出することがおっくうになり、閉じこもりがちになる人も増えます。そういった現状を受け、高齢者を地域全体で支えようとする意識が芽生え、買い物や病院へ付き添うなど生活の支援を行ったり、集いの場を設けたりする活動が始まっています。

要支援1・2の人、基本チェックリスト該当者でケアマネジャーから紹介のある人などが対象です

通所型サービス ニコニコ茶屋

趣味につながる活動や脳トレなどを行った後は、体を動かします。少し汗をかいたら、みんなで昼食タイム。できることできないことをお互いに補い合いながら、充実した時間を過ごしていました。

訪問型サービス 困りごと支援事業

病院の付き添いにゴミ出し、掃除に洗濯。依頼されたことを支援者はテキパキとこなします。休憩のついでに「最近調子はどう?」と会話が始まりました。一人暮らしの高齢者にとっては、いざというときに頼れる心強い存在です。

橋北地区は高齢化率が高い地区で、高齢者の社会参加が課題となっています。何かできないか、と考え高齢者が集える喫茶を始めました。徐々に地域の人が支援者として手助けをしてくださるようになり、学童保育や防犯活動、そして総合事業の住民主体サービスまで活動範囲を広げられました。さまざまな場面で地域の人とつながる機会が増え、たくさんの感謝と笑顔に出会ってきました。今では、僕自身の生きがいにもなっています。

NPO法人 ニコニコ共和国理事長 **髙井俊夫**さん

きっかけは「高齢者の居場所づくり」

地域で取り組む

いきいき百歳体操

気軽に寄り合って介護予防 筋力づくりと居場所づくり

いきいき百歳体操は、重りを使った高知県発祥の筋力運動です。平成14年に開発されたこの体操は、今や全国で400を超える市町村で行われています。三重県内で初めて取り入れたのは本市で、現在では、市内の70カ所で行われるなど、広がりを見せています。

いきいき百歳体操は、住民の「やりたい!」という声で始めることができ、立ち上げ当初に地域包括支援センターの支援を受けた後はDVDを見ながら住民同士で運営します。体操が終わった後、独自にお茶会を開いているところもあるなど、介護予防だけでなく居場所づくりにもつながっています。

いきいき百歳体操は、行政主導ではなく、「地域住民が自分たちのために自分たちで地域に体操の場をつくって運営し、皆で元気になる」という地域づくりの視点も取り入れたものです。

地域の皆さんのやる気に動かされました

富田一色連合自治会会長 **藤田信男**さん

水谷さんから話を聞いたときはどんな体操か知らなかったんですが、現場を見に行った際、地域の皆さんの「やりたい!」という声と熱意がすごかったんです。地域の高齢者が元気になるならと、公会堂を開放し、当初パソコンの画面を見ながら体操を行っていたので、自治会としてテレビを購入しました。新しいものを取り入れることは勇気が要りますが、その地域の住民の熱意にできる限り応えることが、自治会の役割だと思っています。

一人じゃないから継続できる

いきいきサロン転ばぬ先のオモリ
世話役代表 **水谷武彦**さん

たまたま仲間が、北地域包括支援センターが開催する「いきいき百歳体操住民説明会」に参加して、「地元でやろう」と話が盛り上がりました。早速、北地域包括支援センターの職員さんと今後の進め方を打ち合わせて、公会堂の無償利用申請や自治会との話し合い、チラシ作成などを進めました。初回は26人の参加者でしたが、口コミで地区内に浸透し、想定していた40人の枠はあっという間に埋まりました。1週間に1回集まるので、参加者が元気かどうかも分かります。ワイワイガヤガヤの雰囲気で、体操よりもおしゃべりの方が健康の秘訣(ひけつ)かもしれません。

あなたも「いきいき百歳体操」を始めてみませんか

いきいき百歳体操の立ち上げ支援は、地域包括支援センターが行っています。まずは、住民説明会で内容を見て聞いて体験してください。担当地域の包括支援センター職員が出向きますのでぜひお問い合わせください。

杖が必要なくなったんやわ

次来るのが楽しみ

北地域包括支援センター
☎059-365-6215
中地域包括支援センター
☎059-354-8346
南地域包括支援センター
☎059-328-2618

安心の急性期医療と地域連携

患者に寄り添う医療体制

市立四日市病院
地域連携・医療相談センター サルビア

市立四日市病院は、命に関わる緊急で重症な病気やけがなどに対し、高度な専門的医療を提供する急性期病院です。そして、急性期治療を終えた患者が安心して退院できるよう、その支援の役割を担っているのが、「地域連携・医療相談センター　サルビア」。ここには、医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）・看護師など11人の専門スタッフが常駐しています。

市立四日市病院
地域連携・医療相談センター
サルビアのスタッフ

1日に80件以上の相談を受けることも

サルビアでは、退院後の療養や介護など、病気によって起こるさまざまな生活上の不安や心配事について、相談を受けています。必要に応じ、院内の医師や看護師、リハビリスタッフ、薬剤師などの関係職種と、また地域の医療や介護・福祉などの関係機関とも連携して、患者やその家族の意向に沿った生活が実現できるよう、一緒に考えていきます。「介護保険のサービスを使うにはどうしたらいい?」「近くにどんな病院や施設があるの?」など、気軽にお尋ねください。

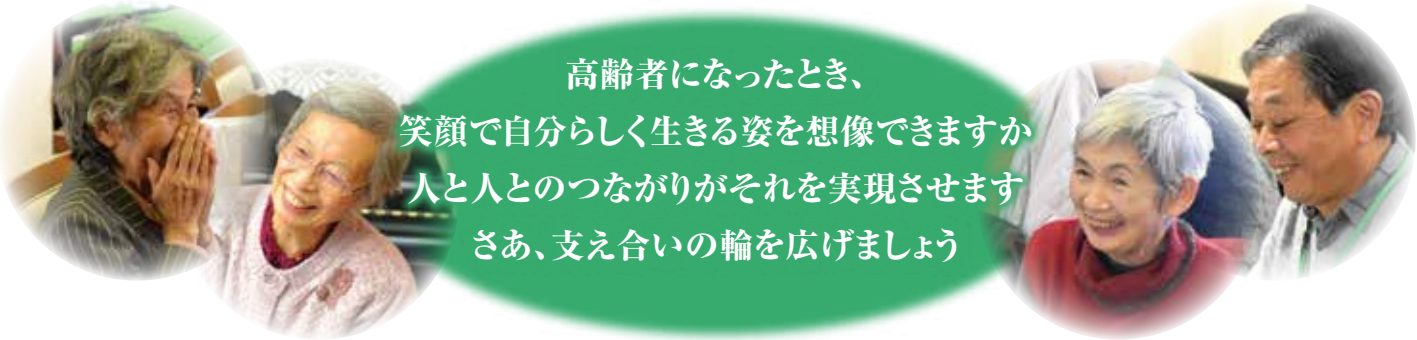
在宅療養を進めるために
退院時カンファレンス

患者やその家族が望む在宅療養を実現するために、退院前にその病院や住んでいる地域の医師・看護師・医療ソーシャルワーカー・ケアマネジャーなどの関係職種が集まって行う話し合いを退院時カンファレンスといいます。

▲退院時カンファレンス

本市では、四日市医師会が平成19年度に全国に先駆けて「退院時カンファレンスマニュアル」を策定しました。10年が経過し、さらに医療と介護の連携をよりスムーズにできるよう、四日市医師会を中心に医療と介護に携わる多職種が集まり、それぞれの専門職の役割を明確にした「改訂版退院時カンファレンスマニュアル」を策定しました。これにより退院に合わせて早期に生活の支援が受けられる体制づくりを強化しました。

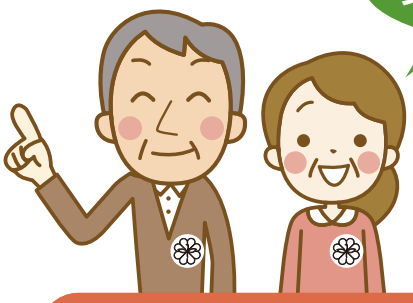
「自宅で最期を迎えたい」こういった希望を実現するため、四日市市は在宅医療の推進に取り組んでいます。



●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は
介護・高齢福祉課 ☎354-8170 FAX 354 -8280
市立四日市病院（サルビア） ☎354-1111（代表） FAX 354 -2214
健康福祉課 ☎354-8281 FAX 359 -0288
広報マーケティング課 ☎354-8244 FAX 354 -8315

あなたのまちの民生委員・児童委員

身近な福祉の相談役

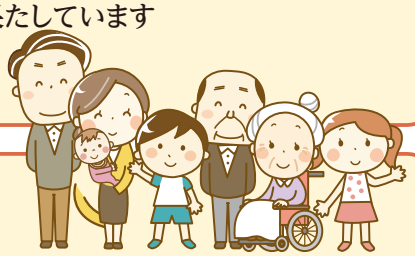


民生委員制度の歴史はおよそ100年に及び、これまで本市でも多くの民生委員・児童委員の皆さんが活躍されてきました。地域福祉を支えるその活動について紹介します。

民生委員・児童委員のマーク

民生委員・児童委員ってどんな人？

- 民生委員は、厚生労働大臣から委嘱された**福祉に関するボランティア**です
- 民生委員は**児童委員を兼ね**ており、民生委員・児童委員の中には子どもや子育てに関することを専門的に担当する**主任児童委員**がいます
- 住民の立場に立って、高齢者や障害のある人の悩み、生活・健康への不安に関することなど、**さまざまな相談に応じ、助言や福祉サービスの情報提供**を行います
- 住民と行政や福祉事業者などをつなぐ**パイプ役**を果たしています
- 現在、市内では**約600人の委員が活動**しています

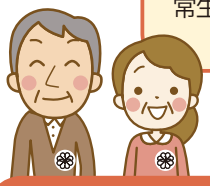


こんな活動をしています！

担当地区の高齢者などを訪問し、日常生活の相談や、見守りを行います。

子育て支援にも力を入れ、絵本の読み聞かせなどのイベントで親子同士の交流を図っています。

住民からの相談に対し、必要であれば行政や福祉事業者などにつなぎ、支援します。



今年は3年に1度の改選の年です

民生委員・児童委員の任期は3年です。現在の委員が2019年11月30日で任期満了となるため、12月に一斉改選が行われます。（再任も可能です）

支えあう住みよい社会 地域から

私たち民生委員・児童委員は、皆さまと同じ地域住民の一人として身近な存在に感じてもらい、不安や困り事を気軽に相談していただくことで、問題の早期発見、継続的な対応、解決につなげることができています。

こうした活動は、なによりも地域の皆さまとの触れ合いの中で築かれた信頼関係によって支えられていることを、日々の活動を通して実感しています。今後も皆さまにとって安心して住みやすいまちであるよう、地域福祉の向上に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

四日市市民生委員児童委員協議会連合会 会長 **藤澤 和実**さん

●この記事についてのお問い合わせ・ご意見は　**健康福祉課☎354-8109 FAX 359-0288**

自治会でつながる 暮らしやすいまちづくり

自治会とは、同じ地域に暮らす住民同士が、自らの生活に直結する課題を解決するため、自主的にさまざまな取り組みを行っている組織です。本市には現在、726の自治会があります。皆さんの生活に一番身近な組織として、それぞれが支え合い、親睦を深めながら、暮らしやすいまちづくりを進めています。

自治会はこんな活動をしています

防災・防犯・交通安全活動

防災訓練や防犯パトロール、防犯外灯の維持管理や、交通安全対策など、安全・安心のための活動をしています。

環境美化活動

きれいで住みやすいまちを維持するために、ごみ集積場の管理や道路・公園の清掃、地区の土木要望の取りまとめなどをしています。

福祉活動

子どもや高齢者の見守り活動などを通じて、地域の皆さんが安心して暮らせるよう、支え合いのまちづくりを進めています。

広報活動

組回覧や自治会の掲示板を通して、暮らしに密着したさまざまな情報を地域にお知らせしています。

新たに加入を希望する人は、お住まいの地域の自治会長へ。ご不明な場合は、地区市民センターか市民生活課へお問い合わせください。

文化・スポーツ・レクリエーション活動

地区の運動会や文化祭など、さまざまなイベントの開催を通して、地域内で親睦を図っています。

皆さんの手で作る「地域」

自治会は、地域の絆づくりに欠かせない大切な存在です。本市には数多くの企業があり、その出身者たちが地域貢献し、自治会に力を貸してくれています。これは他市にはない特色であり、本市の強みです。

今後もそれぞれのスキルを生かし、各地域で切磋琢磨し合いながら、まちづくりを進めていきます。

近年、少子高齢化が進む中で、災害時に情報を行き届けるなど、命を守るためにもコミュニティーづくりは重要です。防災の観点からも、ぜひ、自治会へ加入してください。

四日市市自治会連合会
会長 **水谷 重信**さん

●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は　**市民生活課 ☎354-8146 FAX354-8316**

Vol.72

きらり四日市人

老若男女、各分野で活躍するさまざまな「四日市人」を取材して、その人の言葉で四日市の魅力などをお伝えするコーナーです。

■CTY「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。
日時：２月１日～28日
月水金日　９：30、20：30
火木土　　12：30、20：30

■CTY−FMで毎月第２・第４日曜日放送の「よっかいちわいわい人探訪！」でも紹介します。
日時：２月10日、24日
８：54、14：54

徳山直子さん

三重県乳腺患者友の会「すずらんの会」会長、よっかいちキャンサーリボン実行委員長として、がん検診の普及啓発やがん患者などに寄り添い支え合う活動に取り組む徳山さんにお話を伺いました。

■どん底も経験したこれまでの人生

「徳山さんは、病気を克服し仕事もうまくいっていて幸せそうでいいね」と人から言われることがありますが、そうでもないんですよ。

37歳で乳がんの手術を受けた後、家族のことや、家業のことなど、大変なことが何年も続きました。

術後10年が経ったころリンパ療法の技術に出合い、現在は自宅でサロンを経営しています。乳がん体験を生かし、過労や術後の回復・体調管理・QOL（生活の質）の向上をお手伝いしています。また自分の技術が在宅医療などで活用できるように講習なども行っています。

世の中で活躍している人や、きらりと輝いている人が取り上げられるときに、いま輝き充実している姿が注目されると思います。私は私自身が「どん底」だったと思うような暗い時代、暗い気持ちにもスポットを当てて、助けられながら生き抜いてきた話も聞いてもらいたいですね。

■三重県乳腺患者友の会「すずらんの会」

乳がんの術後に、自身の心の苦しみを主治医に話し、親身に聴いていただきましたが、「がん患者の心の苦しみを、同じ経験をしたもの同士で励まし合える場所が欲しい」と思うようになりました。

主治医からも「穏やかなおとなしい地域柄か、三重県には自ら患者会を立ち上げようとする人は少ない」という話を聞き、「ないなら作ってしまおう」と患者会「すずらんの会」を1994年に設立しました。

そのほかにも、「よっかいちキャンサーリボン実行委員会」などにも参加し、講演会や街中などでのイベントで、がん検診の大切さを呼び掛ける活動もしています。

よっかいちキャンサーリボンロゴマーク

■人生は授かりもの

私は、人生のすべては授かりものだと考えています。幸せだったことはもちろん、病気になったことや苦労したこともすべて自分が授かったものです。これからは、自分の病気や生活を助けてもらったり、お世話になったりした人たちに恩返しをしていきたいと考えています。

そして、今の私には「学び続けたいシニア世代の塾を作ること」「次の世代の人たちを応援すること」など、たくさんの夢があります。そのたくさんの夢を育みながら、多くの人との出会いを大切にして生きていきたいですね。

有料広告掲載欄

入ってよかった
建労
四日市支部
随時加入者募集中

働きながら学ぶ夜間講習
2級建築士 受験準備講座
受講生募集
随時受付中 3月20日〆切
2級建築士試験の受験者を対象にした準備講座です。ベテランの講師陣による懇切ていねいな指導で、学科と設計・製図の講習をおこない、建築に関する知識のない方にもわかりやすく解説します。女性の受講生も年々増え、建築分野への進出がめざましいものがあります。
三重県建設労働組合四日市支部
四日市市ときわ5丁目1-8　☎(059)354-1531(代)

木造建築科 訓練生募集
随時受付中 3月20日〆切
訓練校こそ
技能取得への近道。
仲間づくりの広場。
●訓練期間 2年間（4月入校）
●訓練日 毎週水曜日（昼間）
●募集人員 20名程度
●訓練内容 建築大工の養成訓練
三重県認定 四日市建設高等職業訓練校
職業訓練法人 四日市建設職業訓練協会
四日市市ときわ5丁目1-8　☎(059)354-1531(代)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

第35回

「博物館」「プラネタリウム」「四日市公害と環境未来館」の見どころなどを紹介します。

開館時間　9：30～17：00(展覧会への入場は16：30まで)
2月の休館日　4日(月)・12日(火)・18日(月)・25日(月)
※2月11日(祝)は開館します
3月の休館日　4日(月)・11日(月)～15日(金)・18日(月)・25日(月)

琺瑯（ホーロー）看板の魅力

現在博物館では、開館25周年記念企画展「昭和のくらし　昭和のまちかど」を、2月27日まで開催しています。

本展の魅力の一つは、壁一面に張り付けられた懐かしい琺瑯看板の数々です。琺瑯看板は、鉄などの金属の素地に釉薬(ゆうやく)を塗って焼成し表面をガラス質にすることで、高い耐久性をもたせ、かつては野外看板の素材として利用されてきました。

道を歩いていると、今でも街角の琺瑯看板を見掛けることがよくあります。最盛期の昭和30年代から40年代にかけては、店頭や民家の壁面など、人目につく場所には必ず琺瑯看板があり、当時の広告手段の主役であったと言えるでしょう。

琺瑯看板に見られる独特の手作り感やコピーの面白さには、昭和ならではの人々の暮らしぶりや当時の世相が見事に描き出されており、改めて琺瑯看板を見ていくと、昭和の時代がよみがえってきます。

「あの時、テレビが家に来たんだ」「あの風邪薬はいつも家にあったな…」昭和世代の人には懐かしく、平成世代の人には驚きと関心をもって、観覧していただけるのではないでしょうか。

問い合わせ先
博物館
(☎355－2700　FAX355－2704)

第12回

市民・消費生活相談室に寄せられた相談事例などから、安全に安心して消費生活を送るために役立つ情報をお知らせします。

偽ブランド商品が届いたけれど、業者と連絡が取れなくなった?!

【相談事例】

インターネット通販で格安で販売されていたブランドの財布を購入したが、届いた商品は偽物だった。メールで返品・返金を求めたが、何度送信しても返事がなく、電話番号も使われておらず、販売業者と連絡が取れない。商品の発送元は海外のようだ。

【アドバイス】

実物を見られない通信販売での買い物にはさまざまなリスクが伴います

通信販売ではクーリングオフが適用されません。また、たとえ偽物が届いたとしても、販売業者に返品・返金を求めることは極めて困難です。

トラブルに遭わないために、

①事業者の所在地や電話番号が日本のものか、実在するものかを事前に調べて確認しましょう

②不自然な日本語が使われている場合や、大幅に値引きされている場合には注意が必要です

③クレジットカードで購入した場合、カード会社には早目に連絡し、事情を説明しましょう

■この記事に関する問い合わせ先
市役所1階　市民・消費生活相談室
☎354－8147　FAX354－8452
■契約トラブルに関するご相談は
相談専用電話　☎354－8264
受付日時　月～金曜日
(祝日・年末年始を除く)
9：00～12：00、13：00～16：00

有料広告掲載欄

～創業160有余年の信用と実績　お葬式・家族葬のことなら24時間365日お電話ください～

心の会
会員様募集中

株式会社ふじや本店
光倫会館
0120-114248

■本社／四日市光倫会館
〒510-0836　四日市市松本町北大谷2015
【TEL】059-351-1151　【FAX】059-351-4224
■光倫会館　桜ホール
〒512-1211　四日市市桜町6613
【TEL】059-325-2482　【FAX】059-325-2483
■富田光倫会館
〒510-8014　四日市市富田2丁目3-7
【TEL】059-361-2481　【FAX】059-361-2482

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

第11回

市民活動で取り組まれている事業にスポットを当て、さまざまな主体が「ツナガル」（連携する）実例を紹介します。

「ツナガル」市民協働

このコーナーでは、市民協働を身近に感じていただくため、「四日市を良いまちにしたい！」という目標に向かって、本市が取り組んでいる「ツナガル」実例を、11回にわたって紹介してきました。

人口減少が進む中、地域課題はより一層多様化しています。「市民協働」は、まちづくりに欠かせない手法であり、これまでもさまざまな取り組みを通じて周知を行ってきました。↗

いろいろな「ツナガル」

プロボノ１DAYチャレンジでは、市民活動団体と企業人が、なやプラザ市民協働まつりでは、市民活動団体同士が「ツナガル」事例を紹介しました。市内各所で動き始めているこうした市民協働で「ツナガル」事例には、特定のパターンや決まりはありません。お互いの強みや役割を確認し合い、できることから始めていくことが大切です。

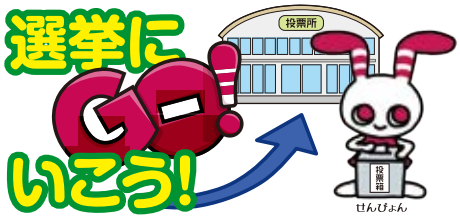
「ツナガルよっかいち」

本市では、市民協働の実践への入口として、NPO、ボランティア団体などの情報発信や、同じ課題や目的を持った仲間探しに活用できるポータルサイト「ツナガルよっかいち」を運営しています。

ポータルサイト「ツナガルよっかいち」

今後もこのサイトをはじめ、複数のチャンネルから、たくさんの「ツナガル」を生み出すための工夫を行っていきます。

問い合わせ先
市民協働安全課
（☎354－8179　FAX354－8316）



選挙が告示されると選挙運動が始まります。誰に投票するかは、候補者の情報をしっかり集めて決めたいですよね。

今回は、次の統一地方選挙から、新たに認められる選挙運動の方法をお伝えします。

問い合わせ先
選挙管理委員会
（☎354－8269　FAX359－0286）

HPhttps://yokkaichi-city-senkyo.com

選挙運動用ビラの解禁

地方選挙での選挙運動用ビラの使用は、これまでは知事と市町村長の選挙でのみ認められていました。しかし、「候補者の政策などを有権者が知る機会を拡充すること」を目的に公職選挙法の一部が改正され、今回の統一地方選挙から、都道府県議会議員と市議会議員の選挙でも使用できることになりました。

候補者の情報を知る他の方法は？

このほか、候補者の政見などを知る方法として、街頭演説や個人演説会で話を聞いたり、候補者のホームページを見たりする方法があります。また、候補者の情報が掲載された選挙公報は、市内の各戸に配布されるほか、選挙管理委員会のホームページにも掲載する予定です。

４月の統一地方選挙では、しっかり情報を集めて、あなたの貴重な一票を投票してください。

統一地方選挙キャッチコピー ⇒ **『投票しよう　明日（あす）につながる　わたしの一票』**

有料広告掲載欄

タンスの中に眠っていませんか？大量のお着物もお気軽に！
店頭・出張買取りOK！
創業106年の歴史と信頼・実績！
着物買取り
貴金属・ジュエリーも高価買取り中！

紺KONBUN文　きもの屋・小町KOMACHI
059-352-4253
■四日市市鵜の森1丁目7-13
■9時～18時（木曜定休）

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

市政最前線

本市の主な施策や旬の話題を取り上げるコーナーです。
今回は、市内で初めて市長が「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言に賛同しましたので紹介します。

第24回

「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言

平成26年３月、首相官邸で「輝く女性応援会議」が開催されました。その後、女性の活躍推進に積極的に取り組んでいる企業の男性リーダーが集まり、その取り組みや思いを取りまとめた「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言を平成26年６月に公表しました。

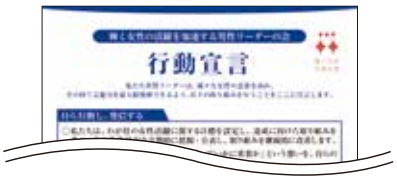
同宣言は、組織のトップを務める男性リーダーが、さまざまな女性の意欲を高め、その持てる能力を最大限発揮できるよう、「自ら行動し、発信する」「現状を打破する」「ネットワーキングを進める」ことを宣言するものです。

同宣言に賛同する男性リーダーが、同宣言に沿って具体的な取り組みを進め、取り組みの輪を社会的に影響力のある多くの男性リーダーに広げていくことを目指しています。

市内初　四日市市長が賛同

「男女共同参画プランよっかいち2015～2020」の中間見直しを契機に、本市でも森市長が同宣言に賛同しました。市内では、企業などを含め、賛同する男性リーダーは森市長が初めてとなります。

今後、女性活躍推進における思いや取り組みを発信することで、市内における企業などの男性リーダーに、女性の活躍を推進する重要性を感じてもらい、取り組みを進めてもらうよう促していきます。



▲「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言

問い合わせ先
男女共同参画課
（☎354－8331　FAX354－8339）

四日市まちかどニュース

市内各地で開催されたイベントなどを写真と文章で紹介するコーナーです。

どんど（１月15日　諏訪神社）

正月の松飾りやしめ縄を持ち寄って燃やし、無病息災などを願う行事「どんど」。毎年市内各所で行われ、冬の風物詩となっています。

撮影している間にも続々と地域の皆さんが集まり、代わる代わる火を囲んでいました。

BANKO300th　未来につながる萬古焼展（１月８日～３月24日　あさけプラザ）

沼波弄山（ぬなみろうざん）翁生誕300年を記念して、あさけプラザ１階展示コーナーで、萬古焼が展示されています。パステルカラーの皿やユニークな急須など、目で見て楽しい焼き物が並んでいます。ぜひご覧ください。

有料広告掲載欄

創業106年の歴史と信頼・実績！
紺文 KONBUN
アールデコ
0120-928-319
■四日市市芝田1丁目6-2
■9時～18時（木曜定休）

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

編集後記

今回の表紙は、四日市市ヘルスリーダーの会が開催するイキイキ教室にお邪魔して撮影しました。歌やハンドベル、フォークダンスなども取り入れられ、参加者の皆さんは真剣な表情ながら和気あいあいと取り組んでいました。私も真似してストレッチをしてみましたが、筋が伸びて気持ち良かったです。（久徳）

特集見開き写真に笑顔で写ってくれたおばあちゃん。100歳超えとは思えないくらいお元気で、清楚な方でした。見開きの字は、自筆です。弱気になった時にふとこの言葉が目に入り、自分で書いて気持ちを整えたそうです。助産師として生命の誕生に寄り添った後、養護教諭として働かれたとのこと。名前の公表は遠慮されましたが、「元生徒が見てくれるかな」とおっしゃっていましたので、心当たりのある方は、昔話に花を咲かせる機会にしてみてはいかがでしょうか。（山中）

広報紙で動画を見よう

①右のQRコードを読み取って「まるごと四日市」のサイトにアクセス
②表紙の「広報よっかいち」のロゴや下の「こにゅうどうくん」のイラストにスマートフォンなどをかざすと動画が見られます
※利用には無料アプリ「ぴこんず」のインストールが必要

ぼくにスマホをかざしてみてね！

こにゅうどうくん

今月の動画
- 狐の嫁入り道中神事（海山道神社）
- 丹羽文雄

市の情報発信源（2月）

CTY 地デジ12ch　ちゃんねるよっかいち　手話・文字放送付き

放送時間（20分間）
月・水・金・日　9：30、20：30
火・木・土　12：30、20：30

1日(金)～10日(日) ダメ。ゼッタイ！薬物乱用防止
11日(祝)～20日(水) 行く、見る、撮る。四日市工場夜景
21日(木)～28日(木) 高齢者が安心して暮らしていくために

※バックナンバーをYouTubeで配信しています
※番組DVDを広報マーケティング課、市立図書館（自動車文庫を含む）、楠交流会館図書室、あさけプラザ図書館で貸し出しています

CTY 地デジ12ch　四日市の元気！
市長自らが番組に出演し、四日市市の魅力を発信します。奇数月の毎週土曜日21:00放送

三重テレビ 地デジ7ch　とってもワクドキ！
毎月第３金曜日の「旬感☆みえ」のコーナーで市の情報を発信。２月は、15日(金)18:00に放送します

■シー・ティー・ワイ エフエム 76.8MHz CTY FM

「マンスリーよっかいち」（５分間）
第１・３日曜日　8:54、14:54
…市政情報をピックアップしてお届けします

「よっかいち　わいわい人探訪！」（５分間）
第２・４日曜日　8:54、14:54
…四日市で生き生きと活動している人の活動現場の声をお届けします

「ALO！ YOKKAICHI！」（５分間）
土曜日 19:54
…ポルトガル語による市からのお知らせ

「なるほど！ 防災」（５分間）
月曜日 17:30、木曜日 8:30
…災害への心構えなど防災に関するお知らせ

「人権を確かめあう日」（５分間）
毎月22日
２月は、7:30、12:54、16:30、18:30

■レディオキューブ♥FM三重
FM85.0MHz（市内）
「防災よっかいち」（５分間）木曜日 12:55
…防災に関する情報をお届けします

■東海ラジオ
AM1332kHz（市内）／FM92.9MHz
「1・2・3 四日市メガリージョン!!」
日曜日 19:30
…四日市を起点に、東京～名古屋～大阪を巻き込むメガリージョン番組

市ホームページ https://www.city.yokkaichi.lg.jp

スマホ・タブレットで広報紙が読める！
マチイロ　マイ広報紙　Catalog Pocket
「よっかいち」で検索

広報用ＳＮＳやってます！
アカウント名「よっかいち広報」
フェイスブック　ツイッター

有料広告掲載欄

第5回 四日市歯科医師会 市民公開講座 参加費無料

脳卒中や認知症などの病気になると口から食べることが難しくなります。それでも工夫すれば食事を楽しむことができます。
「食べる」を支えるために歯科が行っている診療を紹介します。

日時 2019年3/3(日) 13:30～15:30
会場 四日市市文化会館 第3ホール 四日市市安島2丁目5-3
演題 「食べる」を支える歯科医療 ～最期まで口から食事を楽しむために～
講師 大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能治療学教室 准教授 野原 幹司先生

日本歯科医師会 キャラクター よし坊さん

※訪問診療可能な歯科医院の検索、求人情報などはホームページをご覧ください。
www.ydent.com/jp/

一般社団法人 四日市歯科医師会 〒510-0093 四日市市本町9-12 TEL:059-354-8512

求人募集
◆勤務先／四日市市歯科医療センター
◆雇用形態／歯科衛生士（パート）
◆日給(半日)／¥10,000
◆勤務時間／火・木:午後、日:午前 火・日:月2回 月5～7日 シフト制
四日市歯科医師会 検索

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

■人口 312,190人［12月末日現在（前年比＋27）］　■火災件数 12件［12月分（前年比＋5）］　■交通事故件数 1,032件［12月分］

広報よっかいち No1518 平成31(2019)年2月5日発行(毎月5日・20日発行)
広報マーケティング課／☎354-8244 FAX354-8315
印刷 水九印刷株式会社
UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
「広報よっかいち」は再生紙と植物油インキを使用しています。不要になったらリサイクルへ